

西区教育研究会

1 研究主題 「自ら学びをつくり、広げ、生き方を創造しながら自己実現できる子どもをめざして」

2 研究主題について

西区は、各学校・研究部がそれぞれの研究テーマにそって積極的に研究を推進している。子どもが主体的に学ぶ授業づくり、豊かなかかわりや表現力の育み方、個に応じた指導と評価など、教科等の特性を生かした取組について実践研究を重ねてきた。新学習指導要領においても、子どもの生きる力を育むことをめざし、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することが各学校に求められている。以上をふまえ、「自ら学びをつくり、広げ、生き方を創造しながら自己実現できる子ども」を育むため、本研究主題を設定した。

3 研究方法

集合型の研究会では、1校1名の参加を基本として運営した。講演会や研修会、実技研の場合は、複数の参加を可としたが、あらかじめ参加人数を確認したり、会場の広さや座席配置に気をつけたり、常に感染症対策を意識して行うことができた。

また、多くの研究部でZoomなどを使ってオンライン研究会を開催した。

4 年間活動(事業)報告および特色ある研究活動

- ・西区小教研企画委員会 第1回 8月に集合型で実施
第2回 2月に書面提案

国語……指導主事による評価に関する研修会 水書の実技研	特別活動……中区と合同開催 家庭科……明治乳業(株)による出前授業 指導主事による講演会
図工……巡回展実施 (2グループに分け、期間を短縮) 水彩絵の具についての実技研	栄養職員・栄養教諭 ……中区と合同開催横浜卸売市場との 連携により、未利用魚を取り入れた 独自献立の取組
体育……体づくりに関する実技研	

5 研究の成果と課題

コロナ禍の中ではあったが、各学校及び研究部においてそれぞれのテーマのもと実践研究を重ね、教師の授業力向上が図られるとともに、本研究会の研究主題にせまることができた。

集合型においては、人数が少ないため情報共有が難しかったり、感想文や感想画などの審査の場面で不安があったりした。また、実践提案の研究についても、人数制限により、例年のように研究を深められたか、私たちの学びを深められたか少し疑問が残った。

反面、各研究部で積極的にオンライン研究会を開催したところ、「移動時間が節約できた。」「Zoom内で資料を読み込みPPを活用して行えた。」「参加者をグルーピングしグループワークも行えた。」「参加者がすぐに必要な資料を持ちよることができた。」「パワーポイントで直接提案できた。」等の成果がみられた。

来年度もまた、区内各研究部会の横の連携を図りながら、本年度の反省を生かし、より一層充実した研究を進めていきたい。